

# 外国語科学習指導案

学 級： 2年1組 28人  
場 所： 2年1組 教室  
指 導 者： 教諭 中原 倫子

## 1 単元名 NEW HORIZON English Course 2 Unit 6 Rakugo in English・Presentation 2 町紹介

### 2 単元について

#### (1) 教材観

Unit6 は、日本の伝統芸能である落語が、英語で演じる取組によって世界に広まりつつあることを紹介している。Starting Out では落語を知らない外国人向けのポスターを示し、「舞台上にただ1人座って演じる」という落語の特異性を強調している。Dialog では外国人に落語を説明する対話が扱われている。Read and Think では英語落語の公演パンフレットや古典落語「まんじゅうこわい」を英語落語向けに手直ししたものを紹介している。英語落語の内容を読み取る場面では、生徒が日本の落語を外国人に向けて行う場合どのような工夫がしてあるのか、また落語の「落ち」は何であるのかを考えることができる。落語を通して、日本や他国の文化を理解し、お互いの文化を尊重する意識や態度を育てることができる題材である。言語材料としては、There is[are]～や目的語と主語の働きをする動名詞が取り上げられている。There is[are]～の文は「人やもの」の存在を表現する際によく使われる表現であることから、生徒が身近な人や身の回りのものについて説明する上で適した単元と言える。

Presentation2 は、今までに学んだ内容を基に「町紹介」をするという4技能を統合的に活用させた自己表現活動であることから、Unit6 で扱った言語材料が Presentation2 に生かせると考えられる。

以上のことから、本単元の題材や言語材料から英語で自分の考えや意見を表現することに興味をもっている生徒たちにとって、コミュニケーションへの興味・関心を高めるのに適した題材であると考えられる。

#### (2) 生徒観

本学級の生徒は、学習への取組は真面目で、前向きに様々なことに取り組むことができる。「話すこと」「書くこと」に対する生徒の意欲の向上が見られるが、知識や技能の定着には個人差があり、英語による表現活動に対して苦手意識をもつ生徒も多にいる。そのため、表現活動の際には生徒一人一人の必要性に応じた指導を行いながら、ペア活動やグループ活動等を積極的に取り入れ、互いに高め合えるような学習形態を工夫するようにしている。

全国標準学力検査の中領域分析によると、「英文を正しく読み取る」、「適切な表現を用いて書くこと」においては全国平均を下回っており、まとまりのある英文を読んで理解すること、まとまりのある文を適切な語句や表現を用いて話したり、書いたりすることを苦手としている生徒が少なくない。このため、自分の考えを表現する上で基盤となる語彙・文構造の定着を図る工夫をしている。具体的には、既習の表現の中から活用度の高いものを選び、ペアでの帯活動を行ってきた。学んだことを繰り返し活用する場を設けることで、語彙・文構造の定着を図っている。本単元の学習においては、帯活動等を通して、自分の住んでいる地域を紹介するために必要となる基礎的・基本的な表現の定着を図りたい。

#### (3) 指導観

本単元の最終段階において「町紹介」の表現活動を設定し、新出・既習の言語材料を活用して、自分の住んでいる地域を紹介する文を書けるようになるための学習を展開したい。そのために、次の点を指導の重点と考えた。自分の住んでいる地域を紹介したり、地域に対する自分の考えや気持ちを述べたりするために必要な基礎的・基本的な語彙や表現方法を身に付けさせる活動の設定である。具体的には、単元終末時の表現活動で、自分の伝えたいことを伝えることができるようにするために帯活動Ⅰ(Q and A)、帯活動Ⅱ(Expression Training)を設定する。帯活動Ⅰ(Q and A)は授業の導入段階で行う言語活動で、単元終末時の表現活動で使わせたい表現を使用させ、表現の内在化を図るためのものである。また、帯活動Ⅱ(Expression Training)は単元を通して段階的に表現や語彙を増やしていく活動である。単元を通じた指導を行う中で、学習形態を工夫しながら、英語で適切に表現する練習を重ねさせる。こ

うした活動を通して、自分の意見を整理し英語で分かりやすく表現する方法を学ばせたい。

単元全体の指導の流れとしては、次のように考える。第1時から第9時までは、新出の文構造や表現活動で活用できる語彙、表現方法を定着させるために、教科書を活用して言語の使用場面と言語の働きに注目した表現活動を行わせる。第10時から第12時までは、第1時から第9時までの学習を基に、自分の住んでいる地域について表現する表現活動を行わせる。

言語活動においては、ICT を効果的に活用し、ペアやグループでの活動を取り入れながら、自分の学習状況について振り返る場面も設定する。このことにより、生徒同士が互いに関わり合いながら、意見交換等を通して、見通しをもって学習を進めることができると考える。

### 3 単元の指導目標

- 周りの生徒と協力して、自分の考えや気持ちなどを話したり書いたりしようとする態度を育てる。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 自分の住んでいる地域についての自分の考えを表現できるようにする。【外国語表現の能力】
- 説明文や対話文の概要や要点を読んで理解するとともに、相手の考えを聞いて理解できるようにする。  
【外国語理解の能力】
- There is[are]～や動名詞の用法並びに自分の知っている情報を述べる表現形式を身に付けさせる。  
【言語や文化についての知識・理解】

### 4 単元の指導計画

#### (1) 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 学習した語彙や表現を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	① 自分の住んでいる地域について正しい情報を伝えることができる。 ② 伝えたい内容を整理し、まとまりのある英文を書いたり、話したりすることができる。	① 教科書の本文を読んで、その内容を正しく読み取ることができる。 ② 相手の発表を聞いて、その内容について理解することができる。	① There is[are]～や動名詞の文構造を理解している。 ② 紹介文の文章構成を理解している。

#### (2) 指導と評価の計画 ET: Expression Training

時間	指導内容	評価規準
1	<b>【目標】</b> 単元の見通しをもとう。 ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ スキーマの形成および単元の学習計画の確認 ・ 帯活動Ⅱ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ET</span> : 地域を紹介するために必要な情報収集およびマッピングによる情報整理	アー① イー① ウー②
2	<b>【目標】</b> 部屋にあるものについて説明しよう。 ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 帯活動Ⅱ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ET</span> : 吉田を紹介する英文の作成① (トピック紹介) ・ Starting Out の新出語句や文構造の理解 ・ There is[are]を用いた表現活動 ・ Starting Out の内容理解と音読練習	イー① エー①

時間	指導内容	評価規準
3	<p>【目標】自宅の近くの施設についてたずねたり伝えたりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動 I Q and A</li> <li>・ 帯活動 II <b>ET</b>: 吉田を紹介する英文の作成② (吉田にあるものの紹介)</li> <li>・ Dialog の新出語句や文構造の理解</li> <li>・ There is[are]の疑問文と否定文を用いた表現活動</li> <li>・ Dialog の内容理解と音読練習</li> </ul>	イー① エー①
4	<p>【目標】自分の趣味や特技について話そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動 I Q and A</li> <li>・ 帯活動 II <b>ET</b>: 吉田を紹介する英文の作成③ (自分の経験談を入れた紹介)</li> <li>・ Read and Think 1 の新出語句や文構造の理解</li> <li>・ 動名詞 (目的語) を用いた表現活動</li> </ul>	イー① エー①
5	<p>【目標】英語落語の公演パンフレットを読んで、落語の海外への広まりについて理解しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動 I Q and A</li> <li>・ 帯活動 II <b>ET</b>: 吉田を紹介する英文の作成④ (吉田の有名なものの紹介)</li> <li>・ Read and Think 1 の内容理解と音読練習</li> </ul>	ウー①
6	<p>【目標】自分の趣味や特技について話そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動 I Q and A</li> <li>・ 帯活動 II <b>ET</b>: 自己紹介文や相手へのメッセージ文の作成</li> <li>・ Read and Think 2 の新出語句や文構造の理解</li> <li>・ 動名詞 (主語) を用いた表現活動</li> </ul>	イー① ウー① エー①
7	<p>【目標】英語落語の小断を読んで、その内容を理解し、落語の内容のおもしろさが伝わるように音読しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動 I Q and A</li> <li>・ 帯活動 II <b>ET</b>: 吉田を紹介する英文の作成⑤ (できることの紹介)</li> <li>・ Read and Think 2 の内容理解と音読練習</li> </ul>	ウー①
8	<p>【目標】・ 英語落語家のインタビューを聞いて、必要な情報を聞き取ろう。 ・ 部屋の様子を説明したり、説明の内容を正しく理解したりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動 I Q and A</li> <li>・ Activity 1 落語家の道</li> <li>・ Activity 2 何がある?</li> </ul>	エー①
9	<p>【目標】町紹介のモデル文を読んで、内容を理解しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動 I Q and A</li> <li>・ 帯活動 II <b>ET</b>: 吉田を紹介する英文の作成⑥ (今まで作成した文に英文を付け加える)</li> <li>・ Presentation 2 の新出語句の理解</li> <li>・ Presentation 2 の内容理解と音読練習</li> </ul>	ウー①
10	<p>【目標】自分の住んでいる地域を紹介するプレゼンテーション原稿を作成しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動 I Q and A</li> <li>・ 表現活動 (Expression Training で書いた英文の再構成)</li> </ul>	イー①, ②
11 (本時)	<p>【目標】グループで協力して、自分たちの住んでいる地域のよさが伝わるプレゼンテーション原稿を作成しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動 I Q and A</li> <li>・ グループでの地域を紹介するプレゼンテーション原稿作成と発表練習</li> </ul>	アー① イー①, ② エー②

時間	指導内容	評価規準
12	<b>【目標】</b> 自分たちの住んでいる地域を紹介するプレゼンテーション原稿を発表しよう。 ・ 帯活動 I Q and A ・ プレゼンテーション原稿の完成と発表練習 ・ プレゼンテーション原稿の発表	アー① イー①
13	<b>【目標】</b> 学習したことを振り返ろう。 ・ 帯活動 I Q and A ・ 単元の総まとめ	

## 5 本時の実際 (11 / 1.3)

### (1) 題材名 Unit 6 Rakugo in English・Presentation 2 町紹介

#### (2) 学習目標

- 学習した表現を用いて、積極的に言語活動に取り組むことができる。
- 自分たちの住んでいる地域についての紹介文を文章構成に気を付けながら作成することができる。

#### (3) 「判断基準」の設定

学習課題：グループで協力して、自分たちの住んでいる地域のよさが伝わるプレゼンテーション原稿を作成しよう。

評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでに学んだ表現を用いて、ALTに自分たちの住んでいる地域を紹介することができる。</li> <li>○ 文章構成を意識したまとまりのある紹介文を書いたり、話したりすることができる。</li> </ul>
評価の場面	○ 展開時における英文を書く場面
評価の対象	○ 今まで習った表現を基にした自分たちの住んでいる地域を紹介するプレゼンテーションの原稿
判断の要素	ア トピックについての記述 イ 自分自身に関する記述 ウ 既習事項の活用 エ 英文の量
判断基準B	ア 自分の紹介したい地域を述べている。 イ 自分のことについての情報を述べている。 ウ 自己紹介や地域紹介に使われる既習事項を活用している。 エ 地域について、6文以上の英文で述べている。 <b>【予想される生徒の表現例】</b> Hello. I'm Ichiro Suzuki. I like playing baseball. It's a lot of fun. I'm going to tell you about my hometown. I live in Yoshida. Yoshida is famous for its beautiful nature. There is a river near Honmyo elementary school. It's the Honmyo river. You can see fireflies there in summer. I saw some last summer. It was amazing. Thank you for listening.
判断基準A	(判断基準Bに加えて) ○ 英文が充実し、紹介する地域について自分の体験に基づいた情報を加えている。 ○ 既習事項を活用し、多種にわたる言語材料を使用している。 ○ 代名詞や接続詞等を効果的に用いている。 ○ その他、B状況以上にあると認められるもの。

(4) 主体的・協働的な学びのための指導法

ア 学習課題設定の工夫

学習課題の設定にあたっては、次の点に留意した。まず、新しく赴任するALTから、「吉田の地域について知りたい」との依頼のビデオレターを視聴させることで、生徒に英語で表現したいという意欲をもたせ、英語使用の必然性が高まるようにした。次に、最終的にはグループで協力して、地域によさが伝わるプレゼンテーション原稿を作成させ、多様な意見を取り入れることで、考えをよりよいものに広げたり、深めたりできるようにした。最後に、既習の学習内容や本単元で扱う学習内容を活用することで、課題解決がより効果的に図られるようにしたことである。

イ 積極的に交流・探究させる手立ての工夫

(7) 思考を引き出させるワークシートの作成

思考力・判断力・表現力を高めるために、習得した知識や技能の活用を促す帯活動の更なる充実を図る。具体的には、マッピングの技法を取り入れたワークシートを作成し、個人で単元を通して積み上げてきた表現を活用して、自分の住んでいる地域を紹介する英文を考えさせる。その後、ペアやグループで協働的な学びを通して、よりよい紹介文を作成させる。

(4) 「判断基準」を用いた、話し合い活動の視点の共有化

教師と生徒が「判断基準」を共有することで、グループでの話し合い活動の視点を明確にし、話し合いの活性化や適切な相互評価につなげる。

(5) 授業の展開

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	主体的・協働的な学びのための指導法
導入	5分	一斉 ペア	1 あいさつをする。  2 帯活動(Q&A)に取り組む。	・ 明るい雰囲気です授業を始められるようにする。  ・ ペアで帯活動(Q&A)に取り組ませる。	
展開	42分	個	3 本時の学習目標を確認する。  目標：グループで協力して、自分たちの住んでいる地域によさが伝わるプレゼンテーション原稿を作成しよう。	・ 前時の学習目標を踏まえながら、目標を提示する。	ア 生徒が、意欲的に学習に取り組める学習課題を設定する。
		グループ	4 目標を達成するために必要な表現方法について確認する。  5 グループで協力して、地域を紹介するプレゼンテーション原稿を作成する。	・ 今まで学習した内容を踏まえながら、どのような点に気をつけて表現するのが効果的かを考えさせる。  ・ 前時までに作成した紹介文を基に、まとまりのある英文となるように指示する。	イー(7) 前時までのワークシートを活用して、よりよい紹介文を作成させる。

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	主体的・協働的な学びのための指導法
展開	42分	グループ		<ul style="list-style-type: none"> <li>考えがまとまらないグループには、今まで使ったワークシートを振り返らせるなど、英文を構成できるように指導する。 【補充指導】</li> <li>早く考えがまとまったグループには新しい視点を与え、より充実した英文を書けるように指導する。 【深化指導】</li> </ul>	イー(イ) 「判断基準」をチェックリストとして提示することで話し合いの活性化や適切な相互評価につなげる。
			<p>【生徒の表現例】</p> <p>Hello. I'm Ichiro Suzuki. I like playing baseball. It's a lot of fun. I'm going to tell you about my hometown. I live in Yoshida. Yoshida is famous for its beautiful nature. There is a river near Honmyo elementary school. It's the Honmyo River. You can see fireflies there in summer. I saw some last summer. It was amazing. Thank you for listening.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿が完成したグループはなるべく原稿を見ないで発表できるように指示する。</li> </ul>	
終末	3分	個	6 本時の学習内容を確認する。 7 次時の学習内容を知る。 8 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時で学習したことを確認させる。</li> <li>今後の見通しをもたせ、次時への学習意欲を喚起する。</li> <li>元気よくあいさつをさせる。</li> </ul>	